腾讯新闻

厦門で H7N9 鳥インフルエンザ患者 1 名発見 養鶏との関連

腾讯新闻 fj.qq.com 2016-12-20 20:23 厦门新闻海峡导报 [微博]

記者が厦門市衛生計生委から近日（宮本注：他の報道によると、**20** 日に衛生計生委がリークしたようです）聞いたところでは、厦門市思明区は疾病モニタリングの際に **H7N9** 感染患者 **1** 名を発見したが、散発的なもので、いまのところ患者の容態は安定している。患者の濃厚接触者は、医学観察とサンプル採取による検査を受けているが、異常は見られていないという。

本年秋冬シーズン入り後、我が国では江西省や江蘇省、湖南省などの省で H7N9 患者が報告されているが、**11** 月には我が省その他の地市でも患者が報告されていた。

患者のサンプルを再検査のため省 CDC に急送

2016 年 **12** 月 **18** 日午前、厦門大学付属中山医院が原因不明の肺炎患者を報告。 この報告を受けて、厦門市思明区の **CDC** が直ちに患者の疫学調査を展開。 **12** 月 **18** 日 **13** 時、厦門市 **CDC** での検査の結果、**H7N9** 鳥インフルエンザの陽性反応が得られ、市 **CDC** は患者のサンプルを再検査のため省 **CDC** に急送した。

情報によるとこの患者は；

自由業の **44** 歳男性、

12 月 **11** 日に発熱が現れ、体温は最高で **40.0** 度に達し、咳や痰、全身のけだるさ、乏尿といった症状を伴い、長時間横になっていたので背中に痛みもあったが、**16** 日に中山医院救急外来で診察を受け治療のため入院していた。

患者の発症は、テラスでニワトリを飼育していたからか

記者は、患者が住んでいる地区が農貿市場から約 **50m** の所であり、患者は発症の **10** 日前には農貿市場には行っていないものの、北区途上で、市場の門のそばを通っていたことと、患者の家のテラスでニワトリ **1** 羽を飼育していたことから、活禽環境の暴露により患者が発症したのではとの情報を得た。

濃厚接触者 9 名は医学観察に

これまで、衛生部門が既に採取した予防管理措置には、患者の初歩的な疫学調査が含まれており、病院での患者隔離や院内感染の予防管理と医療スタッフの防護措置などが含まれている。 厦門市消毒ステーションもまた、患者の家での消毒を行っている。 患者の濃厚接触者 **9** 名は医学観察を受けており、毎朝晩に一度の体温測定をしているが、これまでのところ、濃厚接触者からは発熱や席、喉の痛みなどの気道感染症状は出ていない。

鳥インフルエンザウィルスはヒトヒト感染するか？

一年を経てまた厦門にヒト感染 **H7N9** 鳥インフルエンザ患者が現れたということは、市民のもっとも関心のあることだが、鳥インフルエンザウィルスはヒトヒト感染するのだろうか？

CDC 専門家は、**H7N9** 鳥インフルエンザは **H7N9** インフルエンザウィルスが引き起こす急性気道疾病であり、インフルエンザ症状と肺炎が主な臨床症状となるという。 主要な感染経路は気道を通じて或いは鳥類の分泌物や排泄物への濃厚接触によるものだが、ウィルスに汚染された環境からヒトに感染することもある。 とはいえ、発生は散発的状態にあり、ヒトヒト間の持続的感染のエビデンスは得られていない。

恐ろしくはない H7N9 鳥インフルエンザ

人々の **H7N9** に対する理解が深まるにつれ、ヒト感染 **H7N9** 鳥インフルエンザは、早くからもとの甲類伝染病の管理から乙類伝染病に引き下げられており、強制隔離措置を採る必要は無い（下線は訳者。『早くから乙類伝染病に引き下げられ』というが、その種の情報はまだ公開されていないと思われます。 先月の法定伝染病月報を見ても甲類に入っていました。 この厦門の患者発見に伴う他の関連記事多数でもこのように記述されていますが、これは中国のメディアが『コピペ文化』の為なのでしょうか・・）。

衛生部門から市民へ

インフルエンザとヒト感染 **H7N9** 鳥インフルエンザなどの気道感染症を予防するためには、住居やオフ

ィス環境を清潔に保つよう注意すること；　窓を開けて換気をすること；活禽への接触を避け、活禽を屠殺している店舗前で長く居座らないこと；鳥やタマゴは加熱すれば **H7N9** ウィルスに感染しないが、食品の加工プロセスにおいては『ナマのもの』と『加熱するもの』の分離をすること；　健康な生活スタイルを培うようにし、体を鍛えること；　もし発熱や気道症状が現れた場合にはマスクをして速やかに病院にゆき、医師に発症前の暴露歴を伝え、医師の指導かで治療服薬をすること。

http://fj.qq.com/a/20161220/038718.htm

:::::::::::::::::::::::::::::::: 以下は中国語原文 ::::::::::::::::::::::::::::::::

厦门发现一例人感染 H7N9 禽流感 或与养鸡有关

腾讯新闻　　fj.qq.com　　2016-12-20　　20:23　　厦门新闻海峡导报 [微博]

导报记者从厦门市卫生计生委获悉近日，厦门思明区在疾病监测中发现 1 例人感染 H7N9 病例，为散发病例，目前患者病情稳定，该病例的密切接触者经医学观察和采样检测，目前结果均无异常。

今年秋冬季，我国江西、江苏、湖南等省份报告数起人感染 H7N9 病例，11 月份我省其它地市也有病例报告。

患者标本急送省疾控中心复核

2016 年 12 月 18 日上午，厦门大学附属中山医院报告一例不明原因肺炎病例。接到报告后，厦门市思明区疾控中心立即组织开展病例的流行病学调查。12 月 18 日 13:00，厦门市疾病预防控制中心检测结果显示 H7N9 禽流感病毒阳性，厦门市疾控将患者标本急送省疾病预防控制中心复核。

据介绍，该患者为一名 44 岁男性自由职业者。患者于 12 月 11 日出现发热，体温最高达 40.0℃，伴咳嗽、咳痰、全身乏力、尿少，伴久卧后背部酸痛，16 日就诊中山医院急诊并收治入院。

患者发病原因可能是阳台养鸡

记者了解到，患者住所在城市居民小区离农贸市场约 50 米处，虽然患者发病前 10 天均未到农贸市场买菜，但开车回家过程中会经过菜市场门口，并且患者家中阳台养有一只鸡，活禽环境的暴露是患者发病的可能因素。

9 名密切接触者接受医学观察

目前，卫生部门已采取的防控措施包括完成对病例的初步流行病学调查，接诊医院落实病人隔离、医院感染预防与控制和医务人员防护等措施。厦门市消毒站也已经对患者家中等疫点进行终末消毒。患者的 9 名密切接触者接受了医学观察，每日晨、晚各 1 次测体温，目前患者的密切接触者均无发热、咳嗽、咽痛等呼吸道感染。

禽流感病毒能否通过人传人传播？

而对于时隔一年又在厦门出现的人感染 H7N9 感染病例，市民最为关心的是，禽流感病毒是否可能通过人传人传播？

疾控中心专家介绍，人感染 H7N9 禽流感是由 H7N9 流感病毒引起的急性呼吸道疾病，以流感样症状和肺炎为主要临床表现。主要传播途径为经呼吸道或密切接触感染禽类的分泌物、排泄物而传播，也可通过接触病毒污染的环境传播至人，但该疫情现在仍呈散发状态，尚无人际间持续传播的证据。

H7N9 禽流感不可怕

随着人们对 H7N9 了解的深入，人感染 H7N9 禽流感也早已由原来的按照甲类传染病管理，降为乙类传染病，　无需再采取强制隔离措施。

卫生部门提示广大市民

为预防流感和人感染 H7N9 等呼吸道传染病，应注意保持居家办公环境清洁；加强开窗通风；避免接触活禽、避免在活禽宰杀档口停留；煮熟煮透的禽、蛋不会传播 H7N9 病毒，　但食品加工过程中应注意生熟分开；注意培养健康的生活方式，加强体育锻炼；若有发热及呼吸道症状，应佩戴口罩，尽早就诊并告知医生发病前的有关接触史，在医生指导下治疗和用药。